



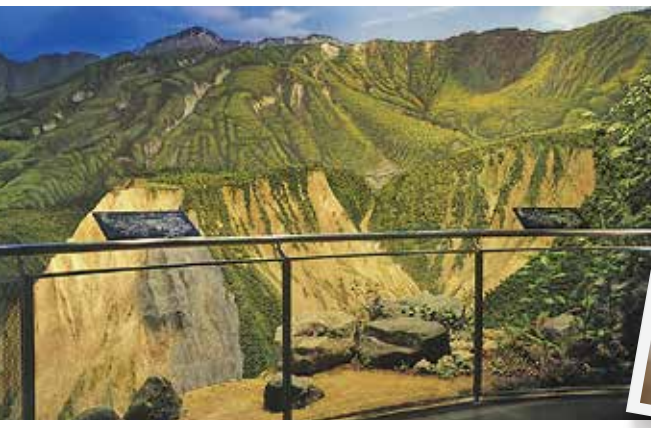
## 立山の自然の 魅力と脅威を知ろう

### 富山県 立山カルデラ砂防博物館

立山の自然と歴史、立山カルデラの砂防といった「立山の魅力と脅威」を学べる博物館。立山や立山カルデラの特徴ある地形がどのようにしてできたのか、また、100年以上続けられている日本屈指の砂防について学ぶことができます。立山へ入る前の予習に最適。知ってから登ると楽しみが何倍にも増します。

受入人数 ▶ 制限なし(映像ホール定員120名)

## 立山カルデラと日本屈指の砂防工事の スケールを大型ジオラマや映像で体験！



### 【館内見学】

2つの常設展示室と大型映像ホールがあり、立山の地形地質、火山、自然災害史や立山カルデラで行われている日本屈指の砂防について学べる。



### 1 立山カルデラ展望台

弥陀ヶ原の南側にある立山カルデラを見ることができる展望台。周囲は高山植物も多く見られ、雄大な湿原の中の木道を散策することもできる。

- 場所／中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂11国有林弥陀ヶ原
- 料金／立山黒部アルペンルート運賃が必要
- 期間／4月中旬～11月下旬
- アクセス／立山黒部アルペンルート「弥陀ヶ原バス停」から徒歩約15分
- 問合せ／富山県自然保護課 076-444-3399

### 🕒 Time Schedule

#### (見学プラン例)

- 所要時間:約1時間30分
- 映像ホールにて学芸員によるガイダンスと映像の上映(30分)
- 立山カルデラ展示室→SABO展示室 館内見学(60分)

### 📍 周辺の立ち寄れるスポット

#### 🚗 車で約15分

**ほんぐろ 本宮砂防堰堤**  
高さ22m、長さ107mで日本最大級の貯砂量を誇り、国指定の有形文化財。上流から流出してくる土砂をせきとめて、下流域を災害から守っています。  
●場所／富山市本宮～中新川郡立山町芦峯寺



## 📖 知識

〈スペイン語等で「大鍋」を意味するカルデラ〉

### 砂防工事は何せ、1世紀以上続けられているの？

立山カルデラは、標高差が500～1,700mもある大釜のような巨大なくぼ地で、これまで地震や洪水によってカルデラ内の土砂が常願寺川から流れ出し、富山平野に大きな被害をもたらしてきました。カルデラ内には、現在も流出すれば常願寺川扇状地を埋没させるほどの大量の土砂(約2億m)が残っています。その土砂の流出を阻止する為に、100年以上の間、砂防工事が続けられています。

### Information

#### 【富山県 立山カルデラ砂防博物館】

- 場所／中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68
- 開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 入館料／400円 ※大学生以下無料(要申請)

### 📍 Access

北陸自動車道 立山ICから約40分

### 📖 学校での事前学習

- 河川の氾濫と治水・砂防についての歴史を調べる
- 立山や立山カルデラの概要について調べる

### 📖 現地学習

- 展示や映像から、立山の自然の魅力と脅威、砂防についての理解を深める
- 実際に立山や常願寺川を見学し、博物館で学んだことを体感する

### 📖 旅行後の事後学習

- 自分たちの地域の河川や水害について調べ、これまでの取り組みとこれからの防災を考える
- 富山の砂防技術が世界に与えた影響を調べる

